

暑中お見舞い申し上げます

校長 小杉 栄樹

今日は登校日でした。朝校門で挨拶をしていると、子供たちも元気に挨拶を返してくれます。子供たちには、「あいさつ日本一」の砂山小学校をめざしましょうと話しています。夏休み中も、出会った人たちに元気よく気持ちのよい挨拶をしてほしいと思います。夏休みはまだ続きます。交通安全、水の事故、熱中症等には、十分に気をつけてください。



「世界にたった1人しかいない 自分を大切にしてください」

夏休みに入り、海や川での事故、交通事故等で、大切な命が失われるという痛ましい出来事が連日のように報道されています。本校でも、日頃から川や海、プールなど子供だけでは行かないこと、危険な場所には近づかないことを指導しています。交通事故や熱中症に対する注意喚起も行っています。自分の命は世界にたった1つしかありません。どうか「命を守る」ことを常に考えて行動できるようにご家庭でも子供たちと話し合ってください。37日間の夏休みに、子供たちがすばらしい思い出を作り、一回り成長した姿で2学期始業式の日に登校してくれることを願っています。保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

79回目の終戦記念日

8月15日(木)は79回目の終戦記念日です。日本各地で様々な行事が行われます。砂山小学校では、6月に和歌山市戦災遺族会長の田中誠三様が、6年生の子供たちに「平和学習」をしていただき、大変貴重なお話を聞かせていただくことができました。今日の登校日にも、私から、子供たちに、8月6日広島、8月9日長崎、8月15日終戦、そして、7月9日和歌山大空襲の話をしました。各クラスでも学年に応じた平和学習を行いました。子供たちは、静かに真剣に聞いてくれました。和歌山大空襲を知らない子供たちも増えてきています。私自身も戦争を経験したことはありませんが、今から79年前、子供たちの祖父母、曾祖父母の時代に戦争があったことを、そして、戦争の恐ろしさ、悲惨さを語り継いでいくことの大切さを改めて感じます。ご家庭でも、「戦争と平和」について、子供たちと話し合っただけであればと思います。



熱戦続く パリオリンピック！

パリオリンピックが7月26日に開幕しました。日本代表の選手たちが大活躍しています。そして、世界中のトップレベルのアスリートたちが、全力で競技する姿に大きな感動と勇気をもらいます。



兄妹の絆が輝いていた柔道金メダルの阿部一二三選手、14歳の金メダリスト吉沢恋選手、技のスピードに驚いたフェンシング金メダル加納虹輝選手、鍛え上げられた肉体美の体操ニッポン団体金メダルと個人総合金メダルの岡慎之助選手、男女ともに抜群のチームワークで決勝トーナメント進出を決めたサッカー日本代表チーム、スケートボードの四十住さくら選手など和歌山県にゆかりのある選手の活躍も期待されます。感動のシーンは数えればきりがありません。



オリンピックは続きます。そして、8月25日からはパリパラリンピックも始まります。オリンピック・パラリンピックの最大のテーマは、人種、性別、障害あらゆる差別を乗り越えることである「共生」と、戦争や争いあらゆる暴力を拒否し、「平和」な社会を築くことです。「オリンピック・パラリンピックの精神」と言われます。SNSが発達し、世界との距離がますます短くなっている中で、オリンピック・パラリンピックが開催されているこの機会に、すべての選手たちの活躍に拍手を送るとともに、「差別や暴力のない平和な世の中」についても考えてほしいと思います。

熱中症対策
熱中症は予防が大切です!